

吉田財団設立40周年記念事業

令和7年度 教材活用状況報告書

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉修一 殿

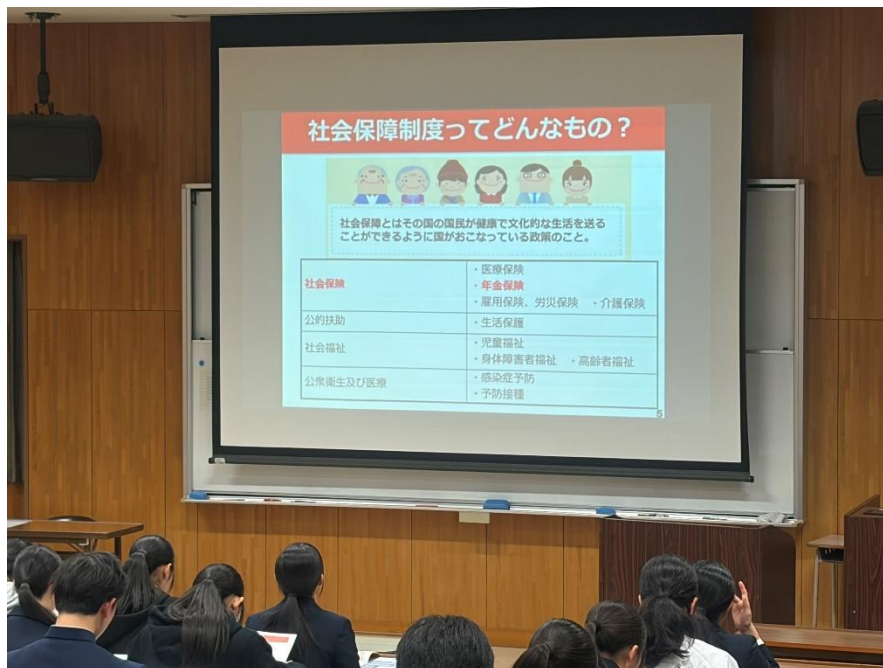
学校名	福岡県立八女高等学校
学校長名	山口 隆嗣
報告者	西山 広志
寄贈品	1.FMV ノート PC コア i7 SSD256GB メモリ 16GB 2.HDMI マトリックス切替器
《振り返り》	
教育的課題	視聴覚室のパソコンが旧型となり、動画等再生の動作が遅く、処理に時間を要することが多い。視聴覚室は、日常的に教科の授業や講演会・説明会と活用する場面が多く、このような取組に支障をきたしつつある状況である。
教材活用の狙い	今後長期間使用するものなので、CPU 等のスペックが高いものを選択し、授業をはじめとする使用に支障がないようにする。また、動画の作成やその活用にも力を入れ、生徒に情報活用能力を身につけさせたい。
目的達成の為の工夫	パソコンをはじめとする ICT 機器を授業に有効活用することで、板書の時間を短縮し、メリハリある授業展開の中で「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげ、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図りたい。
《教材活用の効果・成果》	
活用状況及び、教育的課題の解決状況	1.教科の授業において、パソコンのスペック向上により動作が安定し、各種ソフトを活用しても円滑に授業を進めることができている。 2.保護者向けの説明会において動画を再生した際も、処理の遅れもなく、また動画自体も滑らかに再生され、見やすかったようである。 3.HDMI マトリックス切替器により、接続機器の切り替えもスムーズに行うことができるようになった。
対象者・利用頻度	1. 教師は約 2,3 回/月 2. 生徒は約 1 回/月
目的達成状況	1.現時点で、教師については非常に効果的に活用できている。 2.生徒の活用機会がまだまだ少ない状況である。
教育的効果についての所見等	教師の活用については十分な教育的効果が得られている。 生徒の活用については、現時点では機会が不足しており、まだ十分とは言えない。今後は活用機会を増やしていきたい。

活用状況の写真等(当日の様子など)

・外部講師による講演会の様子1



・外部講師による講演会の様子2



今後の活用見通し・課題

教師については、授業や保護者向けの説明会だけでなく、外部向けのイベント等で広く活用していきたい。

生徒についてはまだ活用機会が少ない状況であるため、説明会やプレゼンテーション等での活用機会を増やすと共に、動画作成やの活用といった発展的な情報活用能力の育成につなげたい。